



(仮称)白岡市生涯学習施設の愛称が決定!

最優秀賞

こもれびの森

(藤井 恵美子さん/上野田)



愛称の意味や考えた理由

明るくあたたかな木漏れ日のイメージと白岡の人々が交流するイメージを重ね、そこから文化が育ってほしいという願いを込めました。

受賞者コメント

新しい施設に多くの市民が集うことにより地域が活性化し、市がますます発展して欲しいと願っています。



去る1月17日に市長室において授賞式を行い、授賞者に賞状と記念品を贈りました。



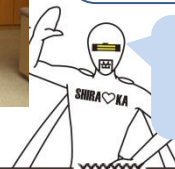
優秀賞

【べあーずしらおか】

(星 達朗さん/加須市:市内在勤)

【えるキューブしらおか】

(田中 康雄さん/小久喜)



たくさんのご応募
ありがとうございました!

愛称選定委員会



去る10月3日から11月7日までの募集期間中に、240名から544点のご応募がありました。

愛称の選定は、(仮称)白岡市生涯学習施設愛称選定委員会(委員15名)が一次選定で41作品に絞り込み、その後、去る12月26日の最終選定で愛称ワークショップの意見などを踏まえて、最優秀賞1点と優秀賞2点を決定しました。

愛称ワークショップ



去る12月17日に市役所庁舎の大会議室において、「(仮称)白岡市生涯学習施設 愛称ワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、応募された愛称のうちの一次選定作品に対し、子どもたちの意見を聴いたものです。

NPO法人オブセリズムCEO 花井裕一郎氏のコーディネートの下、市内の小・中学生及び高校生22名が4つの班に分かれて、41作品に対し、自由に意見を出してもらいました。